

を以つて全農福佐聯合會に對して脱會届を出し遂に日農支部へ轉向することゝなつたのである。

- 1、全農は組合費二圓五拾錢なるも日農は壹圓なること
- 2、全農福佐聯合會本部より日農九州同盟會本部が連絡上便利なること

3、日農は糸島郡内に多数の組合員を有し郡聯合會の結成ありて多数の力に依りて地主に對抗する點に於て有利なること

b、全農（會議派）豐岡支部解体

- 一、組合名稱 全農福佐聯合會豐岡支部
- 二、所在地 八女郡豐岡村大字本分
- 三、創立年月日 大正十五年十二月
- 四、組合員數 一三名

五、解体年月日 昭和八年三月五日
六、解体理由

最近時局の刺戟に依り組合内部に於ては熟々地主と相抗爭することの利弊を再吟味するに至りたる結果寧ろ其の弊害の大なるを悟り、地主對小作人間の紛争は適當なる協調機關を以つて其の解決に當らしめんとするもの結論を生じ、遂に所轄警察署長、村長、農會長並に信用組合長等の斡旋を求め三月五日地主及小作人兩者同村小學校講堂に會合協議の結果、支部解体後に於ける小作問題の紛争の解決機關としては、村長農會長、及び信用組合長の三者を以つて之に當つるとの協定成立し茲に組合支部を解体することゝなつたのである。